

# よりのそう



第151号

編集責任：三好

## 浦嶺駅到着 (三陸リアス鉄道)

三関伊ウォーク 17日目

稲田さん・若林さん・末田さんの三隊長，大船渡歩こう会 佐藤さん・大内さん，撮影担当 高木さん，サポート隊 奥田さんの7人は，午前9時，唐丹駅を出発。元気が足取りで最初の坂を登り始める。

支援隊 11人(敬称略：ハ谷，保科，木村，野村，<sup>オーストラリア</sup>リス，<sup>USA</sup>サムソフ，<sup>USA</sup>ジェシカ，<sup>USA</sup>ビクター，坂井，三好)は8:00に遠野を出発(ドライバー 菊地 慶明さん) 9:45、トンネルを出て坂を登り始めた所で合流。19人となる。さらに大船渡を担当する夏井さんのチームから2人が合流 21名となる。(夏井さんは1人後，終点までサポート) (支援隊計13人)

まずは2kmを越えるトンネルに入る。白線のみの歩道を歩く。トンネルは通行量が少ないとはいえ、大型トラック・ダンプがくると緊張する。3人の隊長はすでに220kmを歩いて来ているので快調な足どり。支援隊は青年が多く、元気一杯。話はずんでこれ又、元気一杯。



浦嶺駅到着 15:35  
三陸鉄道の浦嶺リアス線

## 古民家見学

佐藤さんの紹介で歩こう会会員 小松錦司さん宅(115年経った民家) - 多分1896年建築...と見せて頂く。実に広大な敷地の中に3棟建っている。(裏にもあったかもしれない。)庭もすばらしく、前庭から吉次湾が一望のもとに見える。小松さんご夫婦は国道45号に出て、待ておられた。辞去する時、サマイおしかいたものをさし入れ。ありがとうございました。吉次駅へ11:30到着。昼食休憩。一車両が停車している。津波のため、前後のレールが断ち切られ、この駅に停車しつづけている。津波がとる被害をたらしめたが、この停車が示している。

通行車がカーンと鳴り、連帯の精神があらわさる

## 健脚、高木さん!!

撮影担当の高木さん、少し前を歩く、右手の高木さんに登る、道路左側に移る、ほとんども休みなく撮影。私など歩くことに精一杯なのに驚くべき健脚!! ほとんども息をはずませていた。夜は夕飯をここからハヨクンに向けてUPするためにキーを打ち続けた。

## 若林さん、地元女性のお手伝い

三陸駅を出て三つ目の坂を登り、トンネルをぬけて、しばらく下りはじめた頃、地元の女性の方が一輪車に太太をふんで下っておられた。「お手伝いします」と若林さん、女性にかわって麓の自宅まで一輪車を押す。下りとはいえ太太の重さは相当なものだろう。別れるとき撮影班が二人の記念写真。地元との交流も大切!!

## まずまず元気に。

年齢層が高くなる私も含めて足が痛くなる。お人曰く「11ヶ月休憩になるかと思っておりました」と休憩時に足のストレッチ。三陸駅で支援隊にかえりもあうと思ったが「また歩きたい」という要望で本日の終点浦嶺駅まで歩く。本隊6人は20km、支援隊13人は18km歩く。(稲田隊長の決断に拍手!!)歩こう会の二人は自覚。本隊5人(三好入)はサポート隊奥田さんの車で二泊目のセオホル釜石へ。(生田さんの御厚意)